



バーテンダー150人集合 ハマの夜カクテル競演

150人のバーテンダーがいっせいにシェーカーを振ると会場から拍手が起きた。

「ヨコハマ」「チェリーブlossam」といった横浜発祥のカクテルを含む150杯は、あらかじめ申し込んでいた150人の観客に無料で配られた。

中華街でバーを営む鎌学升さん(54)さんは「50年後、200種類のカクテルを作るイベントにつながるとうれしいですね」と話していた。

西区の臨港パーク

横浜市西区の臨港パークで30日、150人のバーテンダーが一度に150種類のカクテルを作るイベントが開かれた一写真。

今年には日本にバーができて150周年。横浜開港の翌年にあたる1860年、山下町に開業したホテルが日本のバーの始まりといわれている。この日は、横浜市内だけでなく北海道、東京、名古屋など全国各地からバーテンダーが集合。ステージに3列に並んだ

横浜港の魚たち 親子でふれあう 開港祭

横浜市西区の臨港パークなどで開かれている横浜開港祭で30日、港内で釣れた生きた魚にさわるイベント「タッチプール」一写真一があり、親子連れでにぎわった。

横浜港に生息する魚などに親しんでもらうことが狙い。

約10艘の船長らが協力し、港内で当日釣ったスズキやカサゴ、キスなど數十匹をプールに入れ、網ですくって子ども

たちに触らせた。横浜市旭区の小学5年生高田聖君(10)は



「魚には水産物で触ったことが

は初めて。プールの水が冷たくて少しかいた」を満足顔だ。